



入善町立ひばり野小学校

■校長 岡本 聡一

■創立 平成7年4月1日

■所在地 下新川郡入善町舟見 590-1

■児童数 30名

■教員数：7名



科学教育・創意工夫活動の内容

校区は入善町の南東部にあって、黒部川扇状地の扇央、通称「雲雀野台地」に位置している。また、多くの児童が参加する舟見七夕祭りや舟見本陣太鼓、今江太鼓、祭礼等の伝統行事が今も盛んに催され、城下町・宿場町であった独特の薫り高い文化を醸し出している。

本校は、平成31年4月1日より町の小学校小規模特認校に指定されている。令和4年度からは複式2学級となっているが、少人数の強みを生かし、地域の方々とその文化、雲雀野の自然に根ざした教育環境づくりに取り組んでいる。

【発明くふう、科学作品展への取組】

昨年、本校は入善町の少年少女発明クラブの指定を受け、4年生から6年生までの21人を対象として、科学の楽しさを体験し、身の回りのことに疑問をもち、考える活動を行った。夏休み前には、各自で発明くふう作品の構想を練り、夏休みを利用して一人一作品作りに取り組んだ。

また、子供たちは外遊びが好きで、いろいろな昆虫を飼育し、その昆虫にとってよりよい環境を整えようと試行錯誤を繰り返している。そして疑問に思ったことを図鑑やネットで調べたり、友達同士で推論し合ったりしている。これからも心豊かに生き生きと活動する児童の育成に努めていきたい。